

一般質問通告書

12

多可町議会議員

清水俊博 様

平成29年9月7日

多可町議会議員 草別 義雄



受領

午前
午後

10 時 32分

質問の項目及び要旨

答弁を求める者

1 限界集落を消滅集落にならない対策を、

町長

合併して12年を経過します。今、人口は約21千人で世帯約75百世帯です。人口が減っています。

増えているのは鹿と、イノシシです。空き家も多く見られます。定住推進課に聞きますと404戸とのこと。

中区170戸、加美区135戸、八千代区99戸の内訳となっています。

中区の奥中地区、加美区では熊野部地区、八千代区では仕出原地区の戸数と空き家戸数が概ね同じ戸数です。3集落が空き家となるような状態です。

更には65才以上の世帯は約30%ですので町の約75百世帯の約30%の約25百世帯が空き家予備軍です。合わせますと約3000戸が空き家となる見込みと思います。

加美区と八千代区が空き家の町となるような状態です。消滅するような状態です。

マスコミなどでは過疎化と少子・高齢化で、集落の機能を維持することが限界に近づつつある集落を限界集落と言われています。今、限界集落に近づつつある、また集落及び限界集落にとどまっている集落を消滅集落にならないように、対策を早急に講じるべきです。対策について伺います。

2 多可町は健全な行財政が続くのか

町長

平成28年度の決算審議を行っています。

全会計の決算額合計は歳入19,171,869,849円で歳出18,665,600,571円です。

(この中での一般会計の決算額は歳入11,791,669,732円で歳出11,596,629,996円です。)

全会計の基金残高は7,333,503,227円で人口21,657人で1人当たり339,876円となります。

全会計の起債残高は2,532,739,660円で1人当たり1,173,846円となります。

町の健全化判断比率ですが、28年度の経常収支比率は0.941、実質公債比率0.185となっています。

財政の硬直化となっているように思いますが、そして、これからの事業、庁舎建設、ごみ焼却建設事業費、

消防関係の事業費などで、近い将来の行財政は、どのようになるのかお尋ねします。